



山田学区

社協だより

第 59 号

発行
山田学区
社会福祉協議会

ごあいさつにかえて

会長 岡 顯 朗

時計の針が早く回るの
でしょうか。早くも春がめ
つてまいりました。木々に
は新しい芽が出て、花が咲
き、やはりこれから新しい
年が始まりますと心ゆたか
になります。

山田学区のみなさまがた
には、日ごろから当学区の
社会福祉協議会の活動に、
いろいろと協力をいただ
きましてありがとうございます。
ます。

◇ ◇ ◇

今年の三月末には、山田
学区まちづくり協議会がス
タートいたしました。まち
づくり協議会と、その構成
団体であります既存の各種
団体と、そして学区の皆様
方とともに手を取りあつ
て、協力して、どのよう
な、あたらしい山田を作つ
ていくのか、学区の皆さん
とともに考え、進んで行く
こととなりました。まだま

だ、誕生したばかりでよ
ち歩きまでもいきません
が、こちらでもよろしくお願
いいたします。

◇ ◇ ◇

さて、本年度十月二十五
日、おひとり暮らしの高齡
者の皆さんと一緒に、日帰
りのバス旅行で、長浜市高
月町の北近江リゾートへ行
つてきました。たいへんご
好評いただき、バスの定員
いっぱいでしたが、湖岸の
美しい風景を見ながら旅行
し、食事をし、風呂へ入つ
たり、仲間で楽しいおしゃ
べりをしたり、ゆつくりし
た時間を過ごすことが出来
ました。

例年十二月には、心ばか
りの品をお一人暮らしの
方々にお届けしております。
また、九十歳を迎えら
れまし皆様にも、お祝い品
をお送りしております。こ
のため、各町の福祉委員の

皆さんや、民生委員の皆さん
にお世話になりながら、
それぞれのお宅を訪問し、
声をかけさせていたたく、
そして顔が繋がっていく、
これが大切と考えていま
す。

◇ ◇ ◇

やまだ学区の地域サロン
は、現在十五のサークルが
それぞれユニークな活動を
していたいております。
この活動は、市内でもトッ
プクラスでありますし、こ
のような素晴らしい活動を
されておりますのは、山田
の宝物と考えております。
それゆえ、この様子を広く
発信し、併せて、地域サロ
ンのお世話をいただいでお
りますボランティアの皆さ
んの参考になればとの思い
から、「山田学区の地域サ
ロン」という冊子をつくり
ました。来年度も引き続き、
他のサロンについて発行し
てまいりますので、サロンの
世話人様よろしくお願
い申し上げます

人権研修

学区社会福祉協議会では、毎年、学区の同和推進協議会と共同で人権研修を実施しております。今年度も去る十二月一日、我々三八名が、米原市三吉の息郷地域総合センターへ、出向き研修をさせていただきました。

研修の一環として「サイボシ」作りの体験をしました。サイボシとは馬肉等の燻製のことです。我々は、肉を燻製釜にする作業を行ったわけで、肉をフックにかけ、つるすだけです。



で簡単に終わりました。また途中で、裏返し作業といまして、つるしていた肉を、上下ひっくり返して、つるし直す作業でした。

ちようど、お昼には、燻製が終了しましたので、釜揚げをし、昼食のおかずとして、サイボシを食しました。ほんとうにおいしいものでした。

ところが、ここでサイボシを食べながら、初めて知ったわけですが、このように、上手に燻製を作ることには、ものすごく高度の技能と経験があつて初めて可能なので、我々の窯入れが終

わつた後で、このセンターの方が細心の注意でもつて燻製のための火の調節、煙の調節をしていたら、ききたとのこと、びっくりし、感心し、感謝いたしました。そのほか、地域の歴史と

賛助会員募集について

今年も賛助会員をお願いを申しあげましたところ、この不況のなか多くの方々にご協力をいただきました。ありがとうございます。ここに、山田学区の賛助会員の皆様に厚くお礼申しあげ、ここに紹介させていただきます。

(敬称略、順不同)

- 株アヤシロ
- 株ナカイテクノ
- 有横江製作所
- 横江板金塗装株
- 相撲ちゃんこ 大岳
- 株光真製作所
- 株中嶋歯車工業所
- 藤田工務店株
- 福盛教材

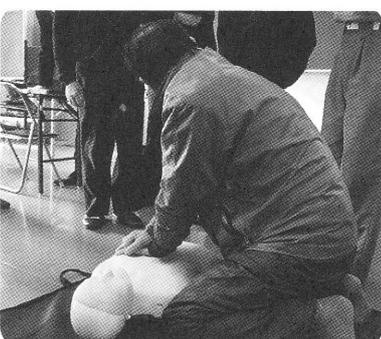
か、地域の熱い思いの講和を聞き、まだ、フィールドワークとして地域内を案内いただきました。午後からは、岩脇の列車避難壕や旧米原小学校の光像の見学をしました。

- 浜口自転車店
- オートカム
- 中野製菓株
- こまい酒店
- 園田瓦店
- 株久泉エンジニアリング
- 有馬場自動車
- 有馬場工務店
- 堀井歯科医院
- 株テクノオーミ
- 膳所木材工業株
- 山一産業株
- 久保水道、
- 西本電気工事株
- 久保産業株
- 有馬場建設
- 髪結 愛
- 有久保電気
- 平井自動車工業株
- 佐山水道工業株
- 中川商店
- 天聖真美会
- 木川営農組合

福祉講座

福祉講座は公民館事業との共催で平成二十四年二月二日に四十一名の出席のもと開催しました。

福祉講座では、高齢者を支えるしくみについて、市長寿福祉課 清水副部長、および、中瀬隆泰氏を講師にお迎えし、①要介護認定、ケアプラン、介護保険のサービスについて、②介護保険制度以外のサービスとして在宅介護を支えるサービスおよび介護予防・生活支援のサービス について説明をいただきました。また、草津あんしんいきいきプラザがほぼ決定されたとのことです。





福祉懇談会は平成二十四年二月二十八日に実施いたしました。出席者は三十四名でした。

今年の福祉関係の講座は「緊急時の対応について」との概念のもと、もつとも「身近に」起こりうるであろう「非常時」、例えば、急病人が出たらどうか、人が倒れていたらどうすると

福祉懇談会

この後、救急救命法を学ぼうと題して、湖南広域消防局西消防署 白井氏および岩井氏から、学びました。今日は、とにかく、「胸

骨圧迫」これだけおぼえて欲しいとのことで、交替で人形モデルで実習しました。また、AEDの使用法の講習を受けました。

か、そのとき、我々で何ができるか、そんな考えで今年の講座を組み立てました。その1つが福祉講座の「胸骨圧迫」やAEDの使用

い方です。

そして、もう一つ、そのような身近な非常時に対応できるシステムはないかとのことで福祉懇談会を開催しました。

まず、出屋敷団地町内会長の中澤嘉一郎氏から、同町内会で現在取り組み中の「安心のバトン」について話題の提起をいただきました。安心のバトンとは一般に緊急医療情報キットとか、命のバトンといわれることが多いですが、同町がなぜこれに取り組むようになったか、そのために町内の体制や組織をどのように活性化させていくかとか、氏の熱い思いを語っていただきました。



これを踏まえて、3つのグループに分かれて討議を行いました。その中の主な意見を紹介いたします。

○民生委員の見守り活動があるが、このためには、町内会長や福祉委員との連携して取り組んでいくことが必要と感じている。

○市の防災員の資格を持っている人がいると思うが、自主防災組織の中に生かされているだろうか。

○婦人会がなくなってしまう、昔の婦人会の年代の方が話し合う場がなくなってしまう。このため、あらゆる年代が集える町内の行事、例えば、夏祭りとか運動会とかを実施することが大切と感じて

いる。

○個人的に気軽に持つことが可能な「黄色いハンカチ」とか「安心カード」とかの普及をもっと進めていこう。

先進地視察研修

去る一月二十日、市社会福祉協議会の先進地視察研修会として、池田市秦野福祉委員会へ行つてまいりました。

相手方の皆さんは男性二名、女性十一名、当方は男性二十九名、女性一名と全く対照的であることに気づきました。

研修内容として秦野地区福祉委員会の組織と活動について、校区の概要、組織、活動内容の説明がありました。池田市社協の十一地区福祉委員会のスタッフ選出は、基本的に「手あげ」メンバーで構成されているとのこと。

「手あげ」メンバーのメリットは、福祉委員会の事だけ考えて行動出来、何か

あれば、その場で解決出来、臨機応変な対応が可能でスピード感があり福祉の推進力が強化される。また任期について何期も留任できること。デメリットは地域全体で活動を支えたり、広げたりするときに、選出地域が偏り、課題があり、組織力の弱点があると感じました。

活動内容は一、広報部会 二、青少年部会 三、高齢者部会 四、障害者部会 五、子育て支援部会 六、男性料理教室部会 七、ふれあいサロン部会 八、小ネットワーク活動部会の各部長より活動内容の報告がありました。

福祉の対象者は地区全世帯ではなく、会員制（一般会員、賛助会員、特別賛助会員、名誉会員の区別があり、出資会費額で名前が異なる）で会費を支払わなければ活動の恩恵を享受できないとのこと。故に活動資金は会費が基となっている。最後の質疑応答は予定時間をオーバーしての活発な意見交換ができました。

地域サロンの紹介

ほのぼのサロン 五条松葉会

五条松葉会のルーツをたどってみますと、昭和四十年代まで遡ります。当時、

有志の婦人たちが、月一回、お宮さんの社務所や各家庭持ち回りで、お茶やお菓子を



を持ち寄り、たまには、弁当をとって、世間話に花をさかし、嫁の悪口を言つて、日ごろの家庭での「うさばらし」を楽しんでいたのが始まりだそうです。

現在、世話人の代表をしていた清水勉氏も、自宅を積極的に開放し、集まりの場として、提供していただいていたと聞いています。



平成十五年には市の「地域サロン」の制度が出来、「ほのぼのサロン五条松葉会」と銘打って登録し、また、「五条ふれあい会館」に活動拠点を移して、現在

編集後記

平成二十三年度の山田学区高齢化率が市内で一番高い学区となりました。(二十四・三%)

過去の福祉懇談会で、十年後の自分の生活を想像して話し合いました。そうしますと、みんな一番気にしている事柄が、自分の健康問題であることがわかりました。

そのため、体操をしたりウォーキングをやったりと健康維持増進に努めておられるかたが多いです。

このような背景から、いま「山田21まちづくり」の皆さんがメインとなつて、山田学区のウォーキングマップの作成に取りかかっています。

皆様方のご意見を反映させて、魅力あるマップとしたいと作業中でありますので、その節にはよろしくご指導いただきますようお願いいたします。